

人材育成等に関する目的	カリキュラム・ポリシー
<p>情報工学科は、情報技術の幅広い基礎力、ネットワーク、ソフトウェア及び数理的手法の高いスキルと社会の諸問題に対応する柔軟性を有し、社会に有用な情報システムの構想、開発及び管理ができる人材を養成する。</p>	<p>1. 伝達の精神など「自然・人間・社会」とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造という教育理念に基づいて、情報工学分野の高度な専門的知識を身に付けた創造性溢れる人材の育成を実現するための学士(工学)の教育課程を編成する。</p> <p>2. 実社会に身に付けるべき在学生の「在学生としての在学生」の在り方を堅持し、経営的な責任感を実現する。</p> <p>3. 理論的知識の確固たる根柢を培うために、一般的な教養を深めたための「専門科目」、情報工学分野の基礎をなす「基礎科目」、情報工学分野の専門家としての能力を養うための「専門科目」の3種類の授業科目を体系的に配置する。</p> <p>4. 情報工学分野を幅広く選択するための「アドバイス教育」や、国際性、コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、倫理観を養う内容を含む科目を配置する。</p> <p>5. 「一般教養科目」では、自然・人間・社会を幅広く俯瞰する能力、判断力・行動力などを養う授業科目を配置する。</p> <p>6. 英語教育においては、現状に応じて柔軟なクラス編成を実現し、理解効率を高め主体的な学びと豊富な課外を行う。</p> <p>7. 「基礎科目」では、初年次より「基礎基礎科目」、「専門科目」の授業科目を効果的に配置し、基礎力学を強化する。</p> <p>8. 「専門科目」では、講義の他に、工程学概論、情報工学実験、演習等の授業科目を重点的に組み合わせることで、情報工学分野の知識と技術を高め、併せて他の授業科目との関連や学問探求の方法を学ぶ。</p> <p>9. 学士課程の集大成として、最終学年次に卒業研究を実施する。</p> <p>10. 情報工学分野を幅広く幅広く学ぶための科目を履修できるよう、他学部・他学科の授業科目の先行履修を可能とし、学生の学習意欲の向上を図り、多様な学習ニーズに応える教育課程とする。</p>

ディプロマ・ポリシ

1. 建築の精神と自然・人間・社会との調和的発展のための科学と技術の創造という教育の理念に基づいて、情報工学分野の高度な専門知識を身に付けた創造性溢れる人材の育成を実現するための学士(工学)の教育課程を編成する。  
2. 真に実力を持つ人物を卒業させる「実力主義」の伝統を堅持し、戦略的な教育課程を実証する。  
3. 段階的な知識の修得を図るため、「一般的な要素を構成するための」一般教養科目、情報工学分野の基礎となる「基礎科目」、情報工学分野の専門家としての能力を養うための「専門科目」の3種類の授業科目を体系的に配置する。  
4. 情報工学の実践的な問題解決能力を育むため、問題解決のプロセスを理解する、批判的思考力、創造的思考力、倫理観を養う内容を含む科目を配置する。  
5. 各教養科目は、個人・社会・人間の成長を促進する能力を、判断力・実験力などを組合せた具体的な結果に具現化する。  
6. 英語教育においては、状況に応じた各種の英語系編集を取り入れ、学習力・実験力を高める学びと育む教育を行う。  
7. 「基礎科目」では、最初に次章「基幹基礎科目」「世界基礎科目」の授業科目を効率的に配置し、基礎能力を強化し、「基礎科目」と接続する。  
8. 「専門科目」では、講義の他に、企画実験課題、情報工学実験、演習等の授業科目を効率的かつ効果的に組み合わせることで、情報工学分野の知識と技術を高め、併せて他の授業科目との関連や学問探求の方法を学ぶ。  
9. 学士課程の集大成として、最終年次に卒業研究を実施する。  
10. 情報工学を学ぶを廣く広め、関心のある人を育てるできよう。他学部・他学科の授業科目の履修や大学院科目の先行履修を可能とし、学生の学習意欲の向上を図り、多様な学習ニーズに応える教育課程とする。

ディプロマ・ボリジ

実力主義の伝統を堅持しつつ、高い専門性と倫理観、国際的な視野を持つ情報工学分野の研究者・技術者・実務者の養成を目標とする。所定の単位を修得し、次の知識や能力を身に付ける学生に対し卒業文書を認定し、学士(工学)の学位を授与する。

- 情報工学による基礎力と専門知識
  - 自然・人文・社会に係る幅広い教養を修得し、情報工学分野に限らず横断的にものごとを俯瞰する能力
  - 修得した専門知識や教養をもとに、自課題を発見し、解決する能力
  - 修得した専門知識や教養をもとに、論理的・批判的に思考し、積極的な姿勢で判断し、行動する能力
  - 修得した専門知識や教養をもとに、他人とのコミュニケーションをとり、国際的な視野を持って活躍できる能力
  - 修得した専門知識や教養をもとに、自己对自己に応じたカリキュラムを形成し、自己を管理する能力

